

二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金

(民間企業等による再エネの導入及び地域共生加速化事業)

設置場所の特性に応じた再エネ導入・価格低減促進事業のうち

地域脱炭素化計画策定事業

地域脱炭素化設備等導入事業

<熱モデル事業>

公募要領補足資料

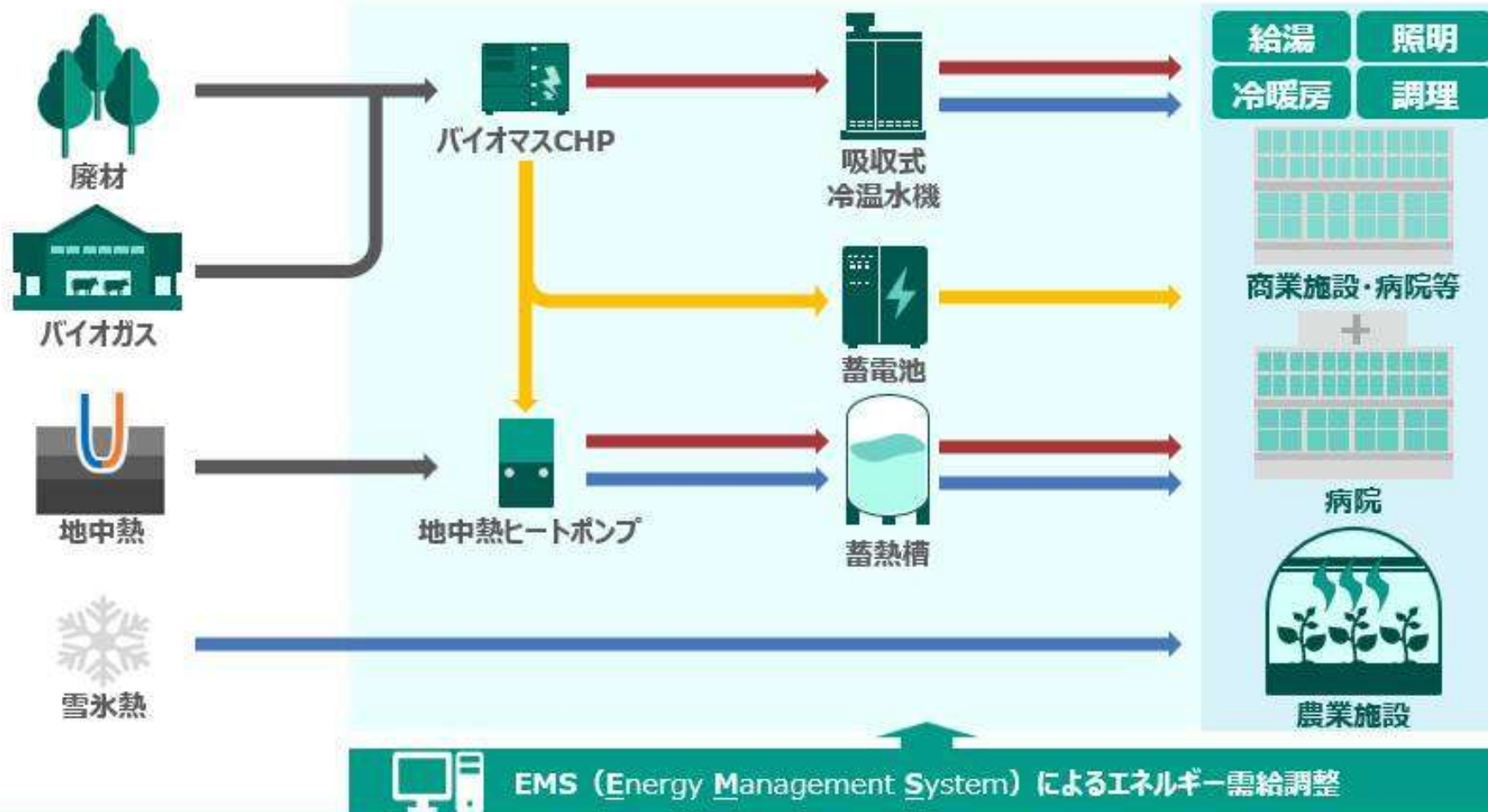
令和8年4月

一般社団法人 環境技術普及促進協会

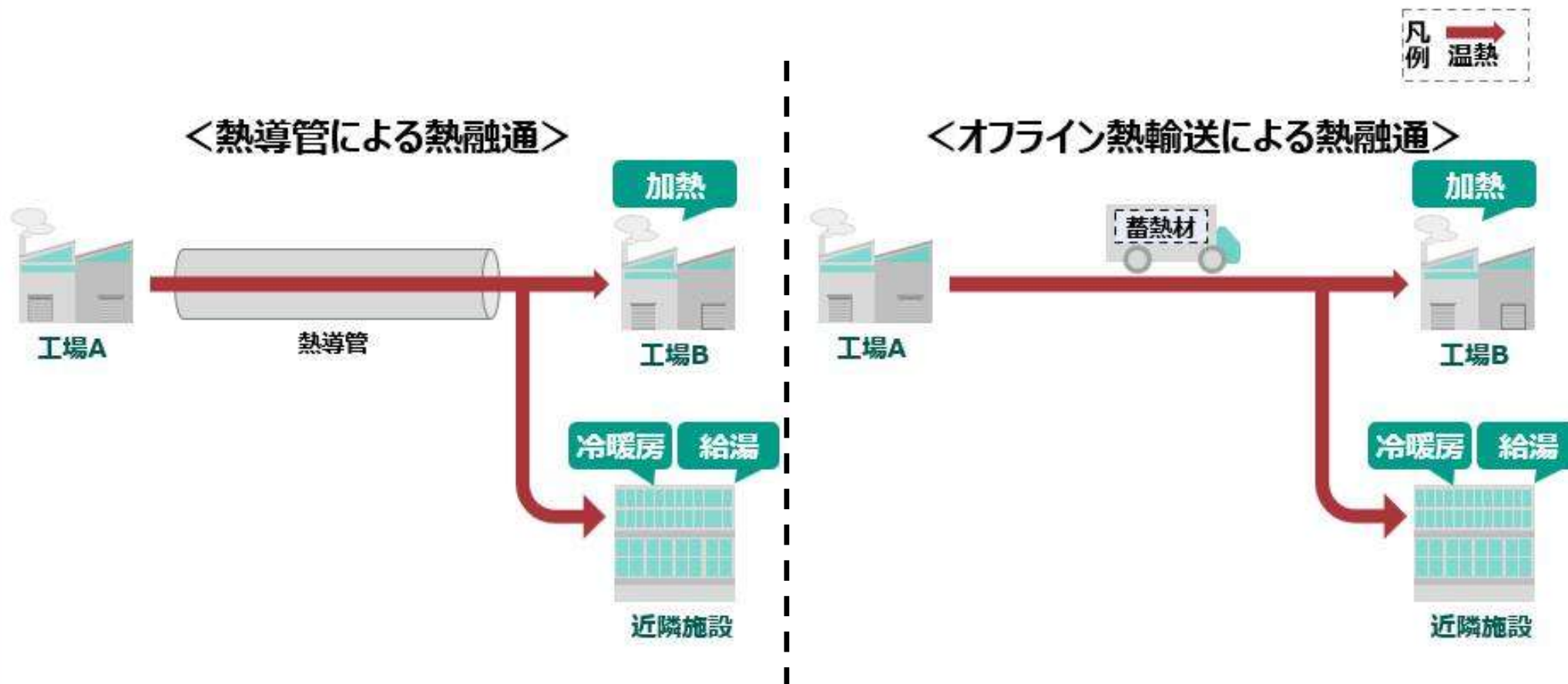
- 設備等導入事業のうち①熱分野モデル事業では、以下のような事業（電力や熱の面的利用・複数施設間での効率的な共有）を想定しています。

凡例 → 温熱 冷熱 電力

<対象事業イメージ>



- 設備導入事業のうち②熱融通モデル事業では、以下のような事業（地域で脱炭素化を行う事業や複数施設間での熱融通）を想定しています。



※本年度より熱融通モデルに温泉熱利用が対象となり、地方公共団体なども応募可能となりました。

施設での発電・発熱量とCO2排出量・削減量算出表の記入例

B-8 施設での発電・発熱量とCO2排出量・削減量算出表 (施設)

※0 施設名称を記入

電力	機器名称	用途	台数	年間使用量 (kWh/年)	年間稼働時間 (h)	CO2排出係数	発熱量換算係数	エネルギー変換									
電力	ボイラー	空調	5	※2	5.1	0.438kg-CO2/kWh	昼間電力9.97 MJ/kWh	1kW = 3.6MJ									
	空調機器	空調	多数	2	5.1	都市ガス: 2.27kg-CO2/Nm3	都市ガス: 40.6 MJ/m3										
						A重油: 2.75 kg-CO2	A重油: 38.9 MJ/L										
計(A)																	
導入設備	地中熱ヒートポンプ		1	80,000													
	バイオマス発電・ボイラー		1														
	計(B)																
				203,000	0	88.91	(A+B)	88,000	200,000								

5枚のシートを用意していますので施設毎に使用量、排出量を記入、作成してください。施設が5を超える場合、合計入力してください。

ここに使用する燃料毎のCO2排出係数と発熱量を記入してください。使用しない係数は削除してください。

この表には電力に関わる値を記入
電力の排出係数は0.416KgCO2/kWhを基準とします
※この電力欄に入力された数値が電力由来です。

※0

熱	機器名称	用途	燃料種	台数	現状				導入後								
					年間燃料使用量	単位	発熱量 (MJ)	CO2排出量 (t)	台数	年間燃料使用量	単位	発熱量 (MJ)	年間稼働時間 (h)	燃料削減量・増	単位 /年	年間CO2削減量 (t-CO2)	耐用年数
熱	ボイラー	空調	都市ガス	3	50,000	m3	2,030,000	113.50	3	m3	2,030,000	5,760	50,000	m3	113.50	15	1,702.5
	空調機器																
	(C)																
導入設備	地中熱ヒートポンプ	空調					780,000	5,760									1,702.5
	バイオマス発電・ボイラー	温水供給					1,250,000	5,760								15	
	計						2,030,000	113.50								0.00	0.0
							2,030,000	113.50								113.50	1,702.5

この表には化石燃料による発熱量に関わる値を記入 (発熱量は全てMJで算出) ここに入力された数値が電力由来以外です。

「集計表」で燃料毎の使用量の合計を自動計算しますので各施設毎の燃料の欄は燃料種毎に固定してください。施設①に全ての燃料種を記載すれば、他のシートの燃料名に自動転記されます。

※9 エネルギー起源

※10 燃料

エネルギー起源	年間発熱量MJ	CO2排出量 t
電力	300,000 kWh	131.4
非エネルギー起源		
合計	300,000 kWh	131.4
都市ガス	50,000 m3	113.50
A重油	10,000 L	27.5
LNG	500 kg	1.4
灯油	1,000 L	2.5
総発熱量	2,482,850	276.30

この表には施設全体で消費する電力、燃料使用量を入力しCO2排出量を算出します。

施設での発電・発熱量とCO2排出量・削減量算出表の記入例

B-8 施設での発電・発熱量とCO2排出量・削減量算出表 (施設①)

※0

施設名称①

電力	機器名称	用途	台数	年間 (kWh)	CO2排出量 (kg)	削減量 (kg)	削減率 (%)	削減率 (%)	削減率 (%)	削減率 (%)
	計(A)									
	バイオマスコージェネ									
	計(B)			13,500	220,000	-206,500	-90.45	-	-	-1,356.71

5枚のシートを用意していますので施設毎に使用量、排出量を記入、作成してください。施設が5を超える場合、合計入力してください。

ここに使用する燃料毎のCO2排出係数と発熱量を記入してください。使用しない燃料名と係数は削除してください。

CO2排出係数	発熱量換算係数	エネルギー変換
電力: 0.438kg-CO2/kWh	風間電力9.97 MJ/kWh	1KW = 3.6MJ
都市ガス: 2.27kg-co2/Nm3	都市ガス:40.6MJ/Nm3	

この表には電力に関わる値を記入
電力の排出係数は0.416Kg-CO2/kWhを基準とします。
コージェネなど再エネ発電設備を新規導入する場合のみ、導入後の発電量、自己消費量を記載し、CO2削減量を算出します。

※0

熱	機器名称	用途	現状				導入後				年間CO2削減量 (t-CO2)	耐用 年数	法定耐用年数で のCO2削減量 (t-CO2)	
			燃料種	台数	年間 燃料使用量 (単位)	年間 発熱量 (MJ)	CO2排出量 (kg)	燃料種	台数	年間 燃料使用量 (単位)				年間 発熱量 (MJ)
	ボイラー										200,000	454.00	15	6,810.00
	計(C)				12,180,000	681.00	-	-	4,060,000	-	-	454.00	-	6,810.00
	バイオマスコージェネ								※3 8,120,000	7,200	-	-	-	-
	熱融通元													
	計(D)								8,120,000	-	-	0.00	-	0.00
	導入前の発熱量				12,180,000 MJ				※7 12,180,000 MJ			544.45		8,166.71

熱融通モデルでは、熱融通量(MJ)は供給先の施設②～⑤で計上します。

「集計表」で燃料毎の使用量の合計を自動計算しますので各施設毎の燃料の欄は燃料種毎に固定してください。
施設①に全ての燃料種と単位を記載すれば、他のシートの燃料名に自動転記されます。

電力	エネルギー起源	500,000	kWh	219.00
	非エネルギー起源		kWh	
	合計	500,000	kWh	219.00
燃料	都市ガス	350,000	Nm3	14,210,000
				794.50

この表には施設全体で消費する電力、燃料使用量を入力しCO2排出量を算出

※行の追加削除厳禁 施設①に使用する燃料種を全て記載してください ②以降に反映されます
※発電量、発熱量、燃料使用量についてはその根拠資料を添付のこと
※記入方法については、記入例を参照の事。

14,210,000	1,013.50
------------	----------

施設での発電・発熱量とCO2排出量・削減量算出集計表（その1）

B-8 施設での発電・発熱量とCO2排出量・削減量算出集計表

CO2排出係数	発熱量換算係数	エネルギー変換
電力：0.438kg-CO2/kWh	昼間電力9.97 MJ/kWh	1kW = 3.6MJ
A重油：2.75 kg-CO2/L	A重油：38.9 MJ/L	
灯油：2.5 kg-CO2/L	灯油：36.7 MJ/L	

事業名

(熱分野モデル)

電力	施設名	現状			導入後					
		年間使用量 (kWh/年)	発電量 (kWh)	CO2排出量 (t)	年間CO2削減量 (t-CO2)	削減量・増加量 (kWh/年)	年間CO2削減量 (t-CO2)	法定耐用年数でのCO2削減量 t	年間CO2削減量 (t-CO2)	削減量・増加量 (kWh/年)
既存設備	施設名称①	0	0	0.00	0	0	0.00	0.00	0	0
	施設名称②	0	0	0.00	0	0	0.00	0.00	0	0
	施設名称③	0	0	0.00	0	0	0.00	0.00	0	0
	施設名称④	0	0	0.00	0	0	0.00	0.00	0	0
	施設名称⑤	0	0	0.00	0	0	0.00	0.00	0	0
	各施設合計	0	0	0.00	0	0	0.00	0.00	0	0
	既存電力串刺し合計	0	0	0.00	0	0	0.00	0.00	0	0
新規設備	施設名称①				0	0	0.00	0.00	0	0
	施設名称②				0	0	0.00	0.00	0	0
	施設名称③				0	0	0.00	0.00	0	0
	施設名称④				0	0	0.00	0.00	0	0
	施設名称⑤				0	0	0.00	0.00	0	0
	各施設合計				0	0	0.00	0.00	0	0
	新規電力串刺し合計				0	0	0.00	0.00	0	0
検算合計					0	0	0.00	0.00	0	0
電力総合計 (串)					0	0	0.00	0.00	0	0

入力可能な領域は左上「事業名」と右上「排出係数」欄で左上に事業名を記入し、右上には使用する燃料毎の排出係数・発熱量を記入してください

この表は施設毎の算出値を自動計算し集計された表です。発熱量及びCO2排出量、削減量、削減率等の集計算出に使用します。

熱	施設名	現状		導入後		年間CO2削減量 (t-CO2)	法定耐用年数でのCO2削減量 t
		発熱量 (MJ)	CO2排出量 (t)	年間燃料使用量	燃料削減量・増加量		
既存設備	施設名称①	0	0.00		0	0.00	0.00
	施設名称②	0	0.00		0	0.00	0.00
	施設名称③	0	0.00		0	0.00	0.00
	施設名称④	0	0.00		0	0.00	0.00
	施設名称⑤	0	0.00		0	0.00	0.00
	各施設合計	0	0.00		0	0.00	0.00
	既設熱串刺し計 (C)	0	0.00		0	0.00	0.00

施設での発電・発熱量とCO2排出量・削減量算出集計表 (その2)

新規設備	施設名称①					0			0.00	0.00	
	施設名称②								0.00	0.00	
	施設名称③	この表は施設毎の算出値を自動計算し集計された表です。 発熱量及びCO2排出量、削減量、削減率等の算出に使用します。 熱分野モデルでは、下の赤枠A,B,C,Dを、熱融通モデルでは、A,CをB-1実施計画書〈6.現時点で想定される事業の効果〉に転記してください。								0.00	0.00
	施設名称④									0.00	0.00
	施設名称⑤									0.00	0.00
	各施設合計									0.00	0.00
	新設熱串刺し									0.00	0.00
熱検算合計	0	0.00			0			0.00	0.00		
熱総合計 (全施設串刺し)	0	0.00			0			0.00	0.00		

電力・熱総合計	この数値は検算に使用する	0	0.00			0			0.00	0.00
---------	--------------	---	------	--	--	---	--	--	------	------

導入前の発電量	電力由来以外のCO2排出量	導入設備の発熱量	施設全体CO2削減量	法定耐用年数削減量
0	(B) 0.00	0	(C) 0.00	0.00

導入前の事業所全体での使用量・排出量

項目	燃料種	年間使用量
電力	エネルギー起源	0 kWh
	非エネルギー起源	0 kWh
	合計	0 kWh
燃料		0
		0
		0
		0
		0

熱分野モデルは、青枠内の新設、既設それぞれ3項目の要件を全て満たしている必要があります。
熱融通モデルでは、削減率の要件はありません。

入力可能な領域は「導入前の事業所全体での使用量・排出量」の燃料欄、単位で使用する燃料名称、単位を記入してください。
施設①に全燃料種、単位を記載している場合、こちらへ自動転記します。

総発熱量	総排出量
0	(A) 0.00

電力由来以外の削減率	D/E
新設 90%以上	
既設 80%以上	

電力由来以外のCO2削減量	(D) 0.00
占める熱利用設備のCO2削減率	D/C
新設・既設とも 50%以上	
施設全体のCO2削減率	C/A
新設 50%以上	
既設 30%以上	

※(A)~(D)はB-1実施計画書〈6.現時点で想定される事業の効果〉欄に入力する数値